

平成26年度天栄村教育委員会重点施策

1 基本理念

子育て環境の変化や教育基本法の改正、地方分権の進展に伴い教育委員会の責任と権限がますます拡大しており、地域との関わりを更に重視し、「ひと、もの、こと」の天栄の強みを活かした教育施策が求められています。そのために、村民一人一人がお互いを思いやる心や支え合いの体制づくりを見直し、「学び」をとおして自らを高め、「学び」が連鎖して、「子どもの豊かな育ちを育む村てんえい」を学校・家庭・地域が一体となって目指します。

「村はひとつ、学校はひとつ、願いはひとつ、
みんなで気づく（築く）さわやかてんえい」

2 基本目標

豊かな自然と優れた文化遺産に恵まれた郷土を愛し、21世紀に生きる「たくましい心身と知性豊かな村民の育成」をねらいとして基本目標を設定しました。

「心身を鍛え、自ら学ぶ意欲的に満ちた人材の育成」

3 重点施策

- (1) 安全・安心な生活の推進
- (2) ふれあいと生きがいに満ちた生涯学習の推進
- (3) 知・徳・体のバランスがとれた、心豊かな児童生徒を育む学校教育の推進
- (4) 村民の潤いと健康を育む文化・スポーツの推進

4 基本方針

- (1) 福島県教育委員会「第6次福島県総合教育計画」天栄村第4次総合計画（後期基本計画）そして天栄村教育委員会重点施策に基づき、円滑な推進を図り、特に放射線対策については関係機関との連携を密にした取組に努める。
- (2) 事務局は組織の充実と責務の明確化を図り、学校教育課と生涯学習課の連携・協力をもつて的確な職務の遂行に努める。
- (3) 学校給食センター、健康保健センター等と十分な連携を図り、幼児・児童生徒の安全・安心及び健康の増進に努める。
- (4) 公民館・各種団体との連携を密にし、教育成果を村内外に積極的に発信するよう努め、適時評価をえるよう努める。
- (5) 英語教育環境作りに努め、効果的な英語指導助手の派遣や指導の充実に努める。
- (6) 「報告・連絡・相談」を重視し、諸帳簿整理と内容の点検に努め、効果的な事務運営に努める。
- (7) 「てんえいふるさと教育推進」をもって郷土愛を育み、天栄に生まれ育ち学ぶことに誇りと自信が持てる教育の推進に努める。
- (8) 評価委員会の評価を天栄村教育行政に反映し、開かれた教育委員会を目指す。
- (9) 村民の目線に立ち、戦略をもって笑顔で迅速な対応に努める。
- (10) 常に研修に努め、リスクマネジメント、クライシスマネジメント、ナレッジマネジメントを考慮した職務の遂行に努める。

「子どもの知りたい思いを喚起する学びの創造」
～知・徳・体のバランスがとれた、心豊かな児童生徒を育む学校教育～

- 1 地域に根ざした特色ある学校づくりをとおして学力向上を図ります。
- 2 道徳教育の充実と走ることを基本とした体力増進を推進します。
- 3 英語教育の充実とこれからの ICT 教育を推進します。
- 4 どの子にも魅力ある学びの環境づくりを目指します。

- (1) 学校・家庭・地域が一体となったいじめ防止
いじめは「どの子にも、どの学校でも起こり得る」ことを前提に、いじめの早期発見に努めるとともに、学校・家庭・地域が連携していじめ防止を図ります。
- (2) 学校・家庭・地域が一体となった道徳教育の推進
徳教育、ふるさと教育などにより、思いやりの心や社会貢献の精神を育むとともに、学校・家庭・地域が連携して心の教育を推進します。
- (3) 学校・家庭・地域が一体となった学力向上の向上と進路実現
天栄村学力向上パートナーシップ会議を中心に、幼・小・中連携による確かな学力の定着を図るとともに、体験活動を核として家庭学習の習慣化や言語能力の向上を図ります。
- (4) 学校・家庭・地域が一体となった健康体力増進
放射線教育を推進し、児童生徒が安全で安心して学校生活を送ることができる生活習慣や知識の習得を図ります。食生活や運動の習慣を身につけさせ、走ることを基本に体力の増強を図ります。
- (5) 特別支援教育の充実
障がいのある幼児・児童生徒一人一人について、持てる力を高めることができるよう特別教育指導員の配置に努め、充実を図ります。
- (6) 天栄の良さを活かした国際理解教育の推進
ALT による英会話の習得の時間を確保し、英語環境の充実に努めるとともに、ブリティッシュヒルズにおける異文化体験事業をとおして、国際化に対応した教育の充実を図ります。
- (7) 天栄の恵みを活かした健康教育の推進
児童生徒の発達段階に応じ、食育や健康、性、薬物などに関する正しい知識の普及と指導の充実を図ります。
- (8) 教育相談の充実
教育に関する悩みを気軽に相談できる体制を整え、関係機関との連携強化を図ります。また、教育相談相員活動の充実を図ります。
- (9) 幼・小・中連携での教職員研修の充実
村内の教員がお互いに学び合う環境を充実させ、同僚性を発揮した学び続ける教師の育成に努めます。
- (10) 天栄村ならではの ICT の活用推進
タブレット型パソコン、電子黒板等の充実を図り、学習環境の整備と児童生徒の情報活用能力の向上に努めるとともに、確かな情報モラルの習得に努めます。

ふれあいと生きがいに満ちた生涯学習の推進
～ 村民一人1学習 1ボランティア 1スポーツ ～

- 1 生涯学習推進基盤の整備を進めます。
- 2 地域コミュニティの活性化に努めます。
- 3 学校支援地域本部事業を推進します。
- 4 村民の読書推進に努めます。
- 5 施設の利用促進に努めます。

(1) 生涯学習推進体制の整備

「村民一人1学習 1ボランティア 1スポーツ」の実現を目指し、生涯学習に関する各課、関係機関、諸団体との連携を進め、生涯学習推進体制の充実を図ります。

(2) 文化・スポーツの振興と推進

文化・スポーツ団体育成と活動の充実・強化を図り、村民の文化・芸術の成果を発表する機会を増やし、地域コミュニティの活性化と村民の交流と学習に努めます。

(3) 指導者育成

てんえいスポーツクラブとの連携を図り、スポーツ指導者の育成や発掘に努めます。学校支援地域本部事業により、地域の人材バンクを確立してボランティアの育成を図るとともにリーダー育成に努める。

(4) 情報の提供

広報やインターネットを活用した生涯学習の学習情報を広く村民に伝えるとともに学習相談体制を整備します。

(5) 学習の機会拡充

村民の学習ニーズと開催日や開催時間の弾力化により、学習機会の充実を図ります。また、学校・家庭・地域が一体となった子どもの豊かな育ちを支援するため、家庭教育の推進に努めます。

(6) 「天栄村子ども読書活動推進計画」に基づく読書活動の推進

文化の森てんえい図書室の活用を図り、様々な企画をとおして子どもの読書に対する習慣を育むとともに、読み聞かせ等の図書ボランティアの育成に努めます。

(7) 施設活用

生涯学習センター運営の充実を図り、既存の生涯学習関連施設の有効活用及び学校と連携した社会教育での学校施設の利用を図り、活動の利便性に努めます。

(1) 地域力 教育力向上プロジェクト（天栄ふるさと教育推進）

体験活動等をとおしてふるさとを見つめ直し、児童生徒自らが良さを発見する活動をとおして、コミュニケーション能力や郷土愛、天栄の良さを再発見し、学校を中心とした地域活性化を図ります。

(2) 学力向上パートナーシップ会議

村内の幼・小・中連携からもう一步融合へ。学び続ける天栄の教師集団が

21世紀を生きる力、生き抜く力を身につけさせるために授業力を磨きます。

26年度は外部より講師を招聘して講演会を開催します。

(3) サマースクールてんえい

夏期休業中、村内小学校6年生が天栄中で学習を中心とした交流会を開催します。今年度は学習だけでなく音楽会や外部講師を招くなど内容や方法を工夫します。

(4) 英語の村てんえい異文化体験事業

小学校1年生から6年生全員、そして中学2年生全員がブリティッシュヒルズで英語を五感をとおして体験する取組を継続します。中学校3年生までには、英語検定3級取得できるよう支援します。

(5) てんえい6千村民学校応援団（学校支援地域本部事業の推進）

学校の環境整備、図書活動、学習支援を学校支援地域コーディネーターが中心となり、地域の人材を活用して学校を支援する事業を展開します。

(6) 天栄教育祭の実施

日頃の学習活動の成果を地域の方々に披露し、子どもの作品や教職員の研究・実践等の展示をおして、地域コミュニティの活性化を図るとともに、村民の教育に対する関心を高めます。

(7) 第29回羽鳥湖畔マラソン大会の開催

子どもから大人まで村一丸となって盛り上げ、地域コミュニティの活性化を図るイベントとなるよう工夫します。

(8) 第50回天栄村文化祭の開催

50回という大きな節目を向かえる村文化祭を若者が積極的に参加できる企画をもって次世代の天栄村文化祭の姿を構築します。

(9) 天栄村子ども読書推進事業

「天栄村子ども読書活動推進計画」に基づき、文化の森てんえい図書室が核として学校図書室と連携をして子どもの読書活動推進を図る。

(10) みんなで気づくいじめ防止推進活動

天栄村青少年健全育成村民会議と教育委員会、学校、家庭、地域が同じ思いを共有し、いじめの防止に努力するします。

(11) 役場連携生涯学習講座と出前授業講座

生涯学習課が中心となり、各課の生涯学習関連事業情報を村民に提供していきます。また、役場自慢講師による出前授業も要請に応じます。

